



かみさか たつあき

発行者:さいたま市議会議員 神坂達成 FAX048-831-2778

2月定例会が2月2日から3月11日までの39日間の会期で開催されました。本定例会では一般会計の総額が過去最大規模(4689億2000万円)となるなか新年度予算に対する審議が中心となりました。

新年度予算の特徴としては、さいたま市の良さや強みである「教育」「環境」「健康」「スポーツ」といった分野を生かしながら、将来を見据えた「子育て支援」「安心・安全」といった分野への重点的な配分となっています。今後これらを着実に実施することで市民満足度を高め、より多くの市民が住みやすいと感じる都市になっていくと感じます。

◆小中全校で英語教育

全国の政令市で初めて、小学校1年生から中学校3年生までで英語教育の授業を行う「グローバル・スタディ科」を拡大します。本格実施となる2016年度からは、小学校103校、中学校57校の全校で実施となります。(3億7682万円)



◆不妊治療の支援を拡大

不妊・不育症に悩む夫婦の精神的な負担を軽減するため、様々な情報提供や電話相談、講座、専門カウンセラーによる面接相談を行うとともに、特定不妊治療にかかる治療費の一部を助成します。(2億8340万円)



◆待機児童ゼロへの取り組み

女性の社会進出や共働き世帯の増加など、社会環境の変化によって保育需要は年々増加するなか、2017年4月時点での待機児童ゼロを目指し、民間の認可保育所の新設を推進し1302人の定員増を図ります。(33億9952万円)



◆高齢者の元気を応援

高齢者福祉では公共施設を無料・割引で利用できるアクティブチケット事業(1570万円)、団体に健康サークルなどに参加するとポイントを付与する長寿応援制度(3331万円)、60歳以上が介護施設などでボランティアを行うとポイントが付与される介護ボランティア制度(4165万円)などで高齢者の元気を応援します。また、高齢者の健康維持・向上のため1次予防事業(5490万円)では公民館や公園などで介護予防教室を開催。高齢者生活支援体制整備(5626万円)では高齢者の生活支援サービスを提供できる体制の構築を目指し、市内27カ所に生活支援コーディネーターを配備します。

小さな声を聴く力!

日々、市民の皆さまからご意見やご要望をお聞かせいただきます。即、解決に至るもの、時間を必要とするものなど、その内容は千差万別です。今回の予算委員会では、約1年半前にお寄せいただいた市民の方からの要望について実現できることが確定しました。ご要望内容はさぎ山記念公園にある「釣り池」に魚を放流して欲しいというものでした。魚が自然繁殖できない環境の中で、釣りを人生の楽しみとしている人にとっては重要な問題です。議会で取り上げること通算3回。小さな声の実現となりました。

祖父母手帳
で孫育て

さいたま市

では孫育てに

役立ててもら

おうと「笑顔

つなぐ孫育て

と題した「さい

たま市祖父母

手帳」を希望者

に配布してい

ます。

「笑顔でつな

ぐ孫育て」で

は、変わってき

た昔と今の子

育ての違いや

孫との遊び方、

そして、祖父母

世代と親世代

の上手な関係

作りなどを分

かり易く解説

しています。こ

の手帳は区役

所、市立図書

館、公民館など

で配布されて

います。

